

福島農産物 聖栄大が販売協力

新鮮

安い

おいしい

直売店 行列中



従業員(右側)らに新メニューの味見をしてもらう東京聖栄大の吉田光一講師(左から4人目)と食品学科の学生たち。葛飾区で

福島県塙町が東京聖栄大学(葛飾区)と連携して、JR新小岩駅北口に開いたアンテナ店「ダリちゃんショップ」が人気だ。七月のオープン以来、扱った農産物などの新鮮さとおいしさが評判を呼び、店頭に行列ができるほど。学生らは食材を生かした加工品を提案している。(村松権主磨)

JR新小岩駅前

「営業日には必ず来にもなった町の花のダリ。新鮮でおいしくて、リア、菊、漬物などが安い」。買い物に来た並ぶ。鈴木公雄店長近所の女性(モミ)は太鼓(みこ)ら二人が朝早くに塙町を出発して、トラックで運んできた品々判を押す。

店を開くのは火、金、土曜の午前十一時だ。午後五時。間口約二、三軒あれば効果の店内に、一袋百円の授業の合間にレジに立ち、キュウリや白菜など、「ありがとござい」の野菜、店名の由来「ダリちゃん」の声をかけ

る。町との連携の中心は、増やすことも検討は、吉田光一専任講師「討したい」と前向き(モミ)とゼミの学生ら約二十人。四年の戸枝舞華さん(モミ)は「お客さんや塙町の人と話せてこの縁から、昨年の大祭で町の物産展を開き、町と大学の協力関係が生まれた。今年二月には教員や学生らが道の駅を見学。陳列や少。町は放射性物質の検査器を導入し、作物ごとに全農家を検査しているが、現実には厳しい。」「都内での直売などで補ったが、売り上げは前年度比二割減。今も観光バスの来店は減ったまま」(まち振興課)という。

これまでダリアの球根の酢漬けやきんぴら、シュークリームの皮にそば粉を練り込んで、鈴木店長は「店がだ」「そばシュー」などあと二、三軒あれば効果の提案を受け、町は現在、加工業者や販売店を探している。大学は三、四日の大学祭で物産展を開く。